



# 学校だより

令和5年9月1日

第 5 号

東京都立田園調布特別支援学校

大田区田園調布 5-43-6

電話 3721-6861

URL: <http://www.denenchofu-sh.metro.ed.jp/>



猛暑日が続いた夏休みが終わり、2学期が始まりました

校長 中村由美子

本日から2学期が始まりました。令和2～4年度の夏休みは新型コロナウイルス感染症対策により、過ごし方にも注意が必要でした。今年の夏休みはそれもなくなりましたが、とても暑い日が続きました。生徒の皆さんは体調管理や熱中症対策に気を配りながら、充実した、有意義な過ごし方をしたのでしょうか。この後、お話を聞くのがとても楽しみです。

7月12日に、防災教育推進委員会がありました。防災教育推進委員会は、全都立学校で設置することとなり、年間2回の委員会を開催します。今年度の第1回は、避難訓練当日に合わせて開催しました。

7月の避難訓練は「集中豪雨による河川増水の対応」をテーマとし、多摩川及び丸子川が氾濫危険水位に達したことで校舎1階に浸水の恐れがある、と想定した訓練でした。そのため、地震や火災のように校庭に避難をするのではなく、校舎の2階以上に避難をしました。

大田区、田園調布消防署、田園調布消防団の方、また防災の専門家や保護者を代表してPTA会長に訓練を見ていただき、意見交換を行いました。特に、令和元年10月に発生した令和元年東日本台風（台風第19号）が接近・通過した際の、本校の地域の状況のお話は何度聞いても驚くとともに、その経験を踏まえての対策が非常に重要であることを改めて感じました。

これから本格的な台風のシーズンを迎えます。天気予報や河川の状況など、推進委員会で御助言をいただいた「情報収集」を適切に行い、対応してまいります。

夏季休業中、教員は卒業生の進路先である事業所を訪問、卒業生が働く様子の参観、また事業所の方からお話を伺うなどの追指導（アフターケア）を行いました。実施の時期や回数等は卒業生の状況や進路先にもよりますが、卒業後1～3年程度、各学校では事業所や支援機関と連携し、取り組んでいます。

ここ数年間はコロナ禍だったこともあり、事業所には元担任等を1名派遣し、対応してまいりました。このたび感染症が5類に移行したこともあり、各事業所には元担任等に加え、教員の同行を依頼しました。教員自身が実際に事業所を訪問し、把握しておくことは非常に大切なことと考えています。そのことは事業所にとっても同じことのように、事業所も快く引き受けていただきました。

7月は「体罰防止月間」「コンプライアンス推進月間」でした。体罰・暴言根絶に向けて、本校のスローガンを次のように決めましたので、お知らせします。

「心をつなぎ、穏やかな言葉掛け」

最後になりましたが、今学期も保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。